

電力研究会（愛知）に同時資料配布しております

平成30年 3月 1日

報道関係各位

株式会社中部プラントサービス

中部電力株式会社よりバイオマス専焼発電設備を受注

株式会社中部プラントサービス（代表取締役社長：深澤 元喜）は、住友重機械工業株式会社（代表取締役社長、CEO：別川 俊介）と共同企業体を設立し、中部電力株式会社（代表取締役社長：勝野 哲）より、バイオマス発電設備（出力：49,000kW、建設予定地：中部電力株式会社四日市火力発電所構内）を受注しました。

本設備は、木質ペレットやパーム椰子殻を主燃料とし、再熱方式（※1）を採用した高効率なバイオマス専焼発電設備となっており、地球温暖化対策の一つとなる再生可能エネルギー開発の発展を目的とした計画です。

今回の発電設備は、住友重機械グループが国内外で490 缶以上（※2）の実績を持つ「循環流動層（CFB）ボイラ」を採用しており、高効率バイオマス発電の分野では高いシェアを得ております。

当社は、中部電力グループの一員として、電気の安全・安定供給を継続し、より安価なエネルギー供給に貢献するとともに、自社木質バイオマス発電設備「多気バイオパワー」の設計・建設・運営など、これまでの豊富な経験と技術力を最大限に活かし、調査・コンサルティング・基本設計からメンテナンス計画、施工、運転、検査・診断、アフターサービスまで一貫したプラントサービスを提供していきます。

【設備概要】

ボイラ形式	：	循環流動層（CFB）ボイラ（再熱方式）
発電端出力	：	49MW
燃料種別	：	木質ペレット、パーム椰子殻
発電方式	：	蒸気タービン式
運転開始予定	：	2020年4月

（※1）再熱方式：蒸気タービンにて膨張した蒸気を再度ボイラへ送り、再加熱後に再び蒸気タービンへと送り込むことで高効率発電を可能とする技術

（※2）住友重機械グループ：住友重機械工業株式会社および子会社 Sumitomo SHI FW 本値は住友重機械グループの CFB 技術供与先（ライセンサー）の実績含む

以上

<お問い合わせ先>

株式会社中部プラントサービス I T ・ 広報部 谷 正大、杉山 公江
(TEL 052-679-1205)